

春光と桜が温かく降り注ぎ、校舎を取り巻く久徴園の木々の新緑が爽やかな風に揺れる、彩り豊かな季節となりました。

この佳き日、創立百周年を越えて101年目を迎える令和3年度の入学式を執り行うにあたり、PTA会長杉浦弘明様にご臨席を賜り、入学生への祝福と激励をいただけますこと、高所からではございますが、厚くお礼申しあげます。また、コロナ禍にあってもこうして厳粛な式典を行うことができますこと、教職員を代表して関係諸氏のご理解とご協力で深く感謝申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。併せて本校での学びに信頼と期待をもってお子様をお預けいただきますことに感謝申し上げます。出雲高校は、高い志を持った多様な生徒が学び合い、高め合う、自主自立の精神に富んだ自治の学園です。お子様にとって、狭隘な人間関係や固定化された価値観が大いに揺さぶられ、化学反応が生じやすい環境にあります。私達はここに有効な触媒を加え、豊かで実りある反応を誘発させ、お子様の成長を促していきます。とはいえ、「産みの苦しみ」の言葉通り、成長過程では悩みや苦しみに直面することもあるでしょう。ご家庭におかれては、お子様を物心両面でしっかりと支え、安心できる居心地のいい、いつでも頼れる場所であり続けていただきたいと思えます。そうした温かな家庭と時には厳しくもある学校とが緊密な連携を図り、一つの「ホーム」としてお子様の豊かな学びと育ちをサポートしていきたいと考えます。私達教職員は、お子様が自らの生きる道を切り開いていけるよう、全力で支援してまいります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育方針を十分にご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

ただいま入学を許可した280名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは、本校のかけがえのない生徒であり、未来の社会を支える国の宝です。また、民法改正に伴い、高校在学中の18歳になった時点で成人の仲間入りをし、選挙権を持つことにもなる皆さんです。社会的自立に向けての出発式でもあるこの機に、伝統ある本校を選んだ責任と合格したという誇りを持ち、また出雲高校生としての自覚と、それぞれの意志ある希望を実現し社会を担っていくのだという気概をもって、澁刺と、活力ある高校生活を送ってください。

さて、今日は、皆さんを迎えるにあたり、出雲高校生として希望することを2点お話しします。

まず1点目は、本校の基本精神と校歌に込められた思いをしっかりと理解し、確かな学びを得て成長してほしいということです。

本校では、「至誠」を重んじる「久徴の精神」を教育理念として大切にしています。誠実な心と態度を忘れることなく生活することで、内面が充実し、その徴（しるし）、つまり努力の成果や人としての徳目がにじみ出てくると、私は理解しています。何事にも誠実であれ。悩みや迷いがあってもごまかさず誠実を貫くことが何よりも成長の糧となります。そして、校歌。正義と真実の光に満ちたこの校舎も、平和と友愛の命みなぎるこの園も、皆さんを支えてくれる環境です。この豊かな環境の中で、集う友垣とともに確かに学び、しっかりと成長を遂げてください。

2点目は、合いを大切に、多様な経験を積み重ねてほしいということです。

個人として自然とできることには限りがあります。もちろん全ての活動は最終的に個々の意志や姿勢に帰結します

が、その過程では様々な工夫が可能です。とりわけ協働的な取組は、新たな気付きや思考の深まりを促し、成長の契機となることも多いものです。話し合いや学び合い、支え合いや分かち合い、認め合いや高め合いを、様々な場面で重ねてほしいと思います。授業や探究的な学び、部活動や生徒会活動、国内外の人々との交流活動など、多様な体験のできる本校で、臆することなく果敢に挑戦してください。誰にも挑戦の機会は与えられます。挑戦するか否かは、意志次第です。そして、挑戦の機会を生かし、次につなげていく、つまり体験を経験に昇華させることがさらに大切です。積極果敢に多様な経験を積み重ね、学びの質を高め、成長を促進させてください。

以上、久徴の精神と校歌に込められた思いを大切に、合いをもって積極果敢に多様な経験を積み重ねて、豊かな学びと成長を遂げる高校生活となるよう期待するとともに、それを教職員一同でしっかりと支えていくことをここに約束し、式辞といたします。

令和3年4月9日 島根県立出雲高等学校 校長 多々納雄二